



## 新・亜鉛電池材料を開発

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、社長：池田全徳、証券番号：4114.T）は、独自の技術によりアニオン伝導層一体型亜鉛極を開発しました。本品は、既にサンプル供給を開始しており、今後早期の量産化を目指していきます。

亜鉛電池は安全・安価で高性能な電池ですが、繰り返し使用した場合、亜鉛の結晶成長に起因する短絡が発生するため、蓄電池には不向きとされてきました。当社の新亜鉛極は、独自開発したアニオン伝導膜材料を亜鉛活物質層上に接着したもので、亜鉛の結晶成長を防ぐため電池寿命が従来比約 10 倍程度向上します。既に 1000 回以上の充放電を繰り返しても、性能が殆ど変わらないことを確認済みです（当社試験結果）。

今後、当社の新亜鉛極は、動力・車載・定置・電力貯蔵など様々な用途に向くニッケル亜鉛電池や空気亜鉛電池といった、次世代型蓄電池の負極用途が期待されます。

当社は、今後も独創的で優れた技術を開発・企業化し、企業理念「テクノアメニティ、私たちはテクノロジーをもって人と社会に豊かさと快適さを提供します」の実現にまい進してまいります。

本品の詳細については、2月26日から東京ビッグサイトで開催予定の第5回国際二次電池展（バッテリージャパン）で発表予定です。

### 【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 IR・広報室

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2

**TEL:03-3506-7605**

[shokubai@n.shokubai.co.jp](mailto:shokubai@n.shokubai.co.jp)